

地球温暖化対策実施状況書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 （届出者）の名称	中部リサイクル株式会社
地球温暖化対策事業者 （届出者）の住所	名古屋市港区昭和町18番地
工場等の名称	中部リサイクル株式会社
工場等の所在地	愛知県名古屋市港区昭和町18番地
業種	サービス業（他に分類されないもの）
業務部門における 建築物の主たる用途	工場
建築物の所有形態	賃貸ビル等（賃貸している建築物）
事業の概要	一般・産業廃棄物処理(ごみ処分業)
計画期間	令和4年4月1日 ～ 令和7年3月31日

2 地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

公表期間	令和5年7月25日 ～ 令和5年10月23日		
公表方法	○	揭示 閲覧	（場所） 中部リサイクル株式会社応接室
		ホーム ページ	(HPアドレス)
		冊子	(冊子名・ 入手方法)
		その他	(その他詳細)
公表に係る問合せ先	052-611-1511		

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

前回の地球温暖化対策に引き続きCO2の低減を行なうが
今年度から3ヵ年掛けてコークスの使用量を低減すると共に
処理量を確保し、原単位の低減を目指す。
又、電力の使い方も更に工夫を重ね、操業形態を見直すことにより、
CO2の低減を勧める。
①CO2削減委員会(省エネルギー委員会)の定期的な開催と電力状況の確認
②省エネ隊の活動活性化
③設備改善実施など

(2) 地球温暖化対策の推進体制

別紙参照

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 1 年度目（令和 4 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		9,880	t-CO ₂
（温室効果ガス除く炭素換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）	9,880	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量
------------------	--------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績			
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
温室効果ガス総排出量		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）				%		%		%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）						%		%

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績			
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
原単位あたりの排出量	0.3393	t-CO ₂ / トン	0.3291	t-CO ₂ / トン	0.342	t-CO ₂ / トン		t-CO ₂ / トン
削減率（対 基準年度）			3.0	%	▲ 0.8	%		%
原単位あたりのみなし排出量						t-CO ₂ / トン		t-CO ₂ / トン
削減率（対 基準年度）						%		%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

原単位の指標である処理量が減ったため、エネルギー使用量が減少しCO2排出量が削減になっているが、効率の良いエネルギー使用を今後も継続して実施していく必要がある。
--

- 備考 1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
- 備考 2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
- 備考 3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。
- 備考 4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

[illegible]

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 1 年度目 (令和 4 年度) における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要 (規模、性能、発生エネルギー量等)
平成29年度	太陽光発電設備	再生可能エネルギーによる発電 (年間33,692kWh)

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区 分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
電 力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値 (クレジット等) の活用の状況

計画期間 1 年度目 (令和 4 年度) におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量 (みなしの削減量) の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

①コピー紙再生紙の使用、裏面の再利用 ②新聞、ペットボトル、缶類は分別リサイクルへ ③空調温度の設定、昼休みの消灯

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

①照明スイッチ類のこまめな入り、切②冷房、暖房などの空調機の温度調節 ③緑のカーテン植樹④通勤通路の清掃、会社周りの一般歩道の除草と清掃

中部リサイクル株式会社
省エネ委員会・
CO2削減委員会組織図

※印はエネルギー管理士免状取得済み
◎印はエネルギー管理員講習受講済み

エネルギー管理統括／委員長
代表取締役 足立正

エネルギー管理企画推進者
製造部 工務課
主任 梅田裕介※

エネルギー管理員 事務局
研究開発・品質管理部
柴山輝◎

事業者全体の取組
・経営的視点を踏まえた取組
・中長期計画のとりまとめ

省エネルギー委員(CO2削減委員兼務)
堀田取締役、松島部長、松富技監◎、佐藤課長、大城総括班
長、市原主任、大西主任◎、肥爪主任

省エネ調査隊
メンバー7号炉班長並びに班員
責任者:大城総括班長
・現場の省エネ調査
・エア、圧空の調査と対策提案
・電気の省エネ調査提案
・燃料他エネルギーの削減提案

目標設定(製造部)
・エネルギーの使用状況のチェック
・電力原単位、原料水分量(入荷・電気炉
投入前)、電気炉操業種類毎の各エネ
ルギー原単位の調査

管理部		営業部		製造部	
総務人事・経理課		営業課	営業企画課	安全課	製造課
			研究開発・品質管理部	工務課	

原田課長

毛利課長

前川部長

松島部長

清水課長補佐 堀田取締役 佐藤(直)課長

管理部:事務所、応接室、会議室の照明、電気機器の管理、社内緑地の管理など

営業課:営業車の管理とエコ運転の実施、燃料使用量の削減など

営業企画課:新企画の立案検討、スラグの有効利用による環境への取組調査など

研究開発・品質管理部:新しい操業手法によるエネルギー使用量の改善

安全課:設備機器の使用状況とエネルギー(電気、燃料、瓦斯)確認など

製造課:溶融電力原単位の低減

工務課:設備の改廃、新設での省エネ機器の導入

改訂内容

- ・事務局変更、委員変更